



# とうめい news

2026.6.1  
Vol. 298

〒248-0034 厚木市船子237  
TEL. 046-229-3377  
発行者:河野 昌史  
編集責任者:林田 朋子  
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

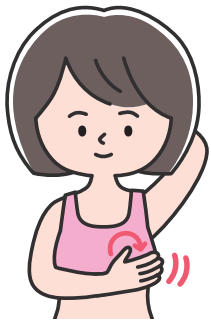
## 6月の歳時 衣替え・梅雨

和名は「水無月」。ここでは「無」は、「無い」という意味ではなく、「の」を意味します。「水無月」とは、「田んぼに水を引く月」を由来とし「水の月」と言う意味があります。6月1日をめどに「衣替え」です。21日頃は夏至。この日を過ぎると夏の始まりです。

## TOPICS

### 乳がんについて

外科・乳腺外科:鎌田 順道



乳がんは、日本人女性に最も多いがんの一つであり、9人に1人が生涯で経験するといわれています。しかし早期に発見されれば、治療によって治癒が期待できる病気でもあります。そのため、「気づくこと」と

「受診すること」がとても重要です。

乳がんの初期は、自覚症状がほとんどないことも多いです。しこりに気づくことがきっかけになる場合が多いですが、痛みを伴わないことが多いため、見過ごされてしまうこともあります。また、乳房の皮膚のひきつれ、えくぼのようなくぼみ、乳頭からの分泌物、乳頭の陥没なども注意すべきサインです。

「たいしたことはないだろう」と自己判断せず、少しでも違和感があれば医療機関を受診することが大切です。

特に40歳以上の方は、定期的な乳がん検診を受けることが推奨されています。マンモグラフィ検査は、しこりとして触れる前の小さな病変を見つけることが可能です。症状がなくても検診を受けることで、早期発見につながります。また、乳がんは女性の病気というイメージが強いですが、男性にも発症することがあります。男性乳がんは全体の1%未満とまれではありますが、発見が遅れる傾向が

あるため注意が必要です。男性の場合も、乳頭のしこりや硬さ、分泌物、乳頭の変形などがみられた場合には、放置せずに受診することが重要です。「男性だから大丈夫」と思い込まず、違和感を生じた時点で医療機関に相談してください。

「忙しいから」「怖いから」と受診をためらう気持ちは多くの方が持っています。しかし、早期に見つかった乳がんは治療の選択肢も広く、体への負担も比較的少なく済む可能性があります。一方で、発見が遅れると治療が複雑になり、生活への影響も大きくなります。

現在の医療では、手術だけでなく、薬物療法や放射線治療などを組み合わせた個別化治療が進んでいます。患者さん一人ひとりのがんの性質に合わせた治療が行われるため、以前よりも治療成績は大きく向上しています。正しい知識を持ち、適切なタイミングで医療につながることで、最も大切な一歩です。

